

サラ 脱 起業 ここがポイント

公認会計士・税理士 木村俊治

「起業」と聞くと、どのよう
な印象をいだくでしょう。実
行することなく終ってしまう
方もいる。もしかしたら、起
業することもあるけど、強い
印象の持ち主ではない。それ
でいて、順調に売り上げを
伸ばされています。

資金1000万円以下 1人が2人で起業する ケースが大半

普通の人が
1人で最適!?

ニュースで取り上げられ
るような起業家は、普通
とは違う目を引くよう
なタイプの方であった
り、大変ユニークな商品
やサービスを提供する方
が多いと思います。さら
には、いわゆる華々しい
成功体験が取り上げられ
るため、一般の人は、ど
うしても自分とは違う世
界の方を感じてしまうの
ではないでしょうか？



でも、そんな人の成功
へいたる過程を見てみる
と、試行錯誤を繰り返し
て成功する商品やサービ
スに行きついたり、とく
に熱い思いを持って起業
したというよりも、仕事
がなくなり、いや応なく
起業してしまったり、な
んとなく親の事業を継い
で、その親から受け継い
だノウハウを利用して第
二創業で成功したりする
こともあり、意外と普通
に感じる人が成功してい
るケースが多いことに気

づかれます。
従って、ニュースにとり
あげられない起業家は
圧倒的に普通の人です。

く1人でスタートした
り、準備資金が100万
円以下の方もいらっしゃ
います。

日本政策金融公庫の「2
014年度の新規開業実
態」によると、起業時の
従業員は1〜2人が半分
近くですし、起業にかか
った費用も1000万円
未満が6割以上。うち5
00万円未満が3割くら
いいます。

起業とは、自分とは違
う世界のことではなく、
普通の人から人生の選
択肢としてとらえるもの
であることを知っていた
ければと思います。起
業に関するお役にたつよ
うなコラムを続けていき
たいと思います。